

「令和4年度第2回日本型教育の海外展開（EDU-Port ニッポン）応援プロジェクト」選定結果の発表

「令和4年度第2回日本型教育の海外展開（EDU-Port ニッポン）応援プロジェクト」に申請のあった5件について審査を行った結果、以下3件を採択することといたしました。

申請機関	事業名	概要
ヤマハ株式会社	インド共和国初等教育への日本型器楽教育導入事業【インド】	デリー州の教育委員会である DBSE(Delhi Board of School Education)と連携し、公立小学校10校約580名の児童を対象に、日本型器楽教育(リコーダー)のパイロット展開を実施する。当該提携校において、器楽教育は過去未導入のため、リコーダーの演奏法と全人的な教育の指導法に注目した音楽科教員研修を実施し、授業を展開する。日本型器楽教育の海外展開によるインド公立校での教育の質向上を目指す。
Indiana Global Learning Center	食品科学モデルカリキュラムの構築と日本型科学教育の実施【ペルー】	ペルーのサンタマリアカトリック大学(UCSM)で開講する日本固有の食品である清酒を主題とした既存2科目(清酒学、日本茶学)を充実拡大し、継続実施する。さらに両科目から「味と香り」、「伝統的食品とフードペアリング」を独立した科目とすべく科目開発する。あわせてこれらに対応する教科書並びに実験実習に用いる副教材を開発する。
株式会社 EDU-Mo	ウェルビーイングを目指すファシリテーター教育を活用した協働学習【セネガル】	セネガルと日本間で小・中・高校生を対象とした日本型ファシリテーター教育を行うことで、双方の国際理解度を高めるとともに、セネガルにおける教育の質(教員、指導法、ICT活用等)の向上を目指す。また、幼少期から異文化に触れる機会を提供することを通して、問題解決力の向上、両国の国際化に寄与する人材育成に貢献する。